

(第6期) さいたま市公民館運営審議会臨時会 議事録

1 開催日時

平成25年10月22日(火) 午前10時から午後11時45分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階講座室2

3 出席者名

〈委員：9名〉

- ① 楠谷 忠洋 委員長
- ② 安藤 聡彦 副委員長
- ③ 青島 祐子 委員
- ④ 五十嵐 健一 委員
- ⑤ 柿塚 一二三 委員
- ⑥ 加藤 久美子 委員
- ⑦ 船木 正子 委員
- ⑧ 長岡 綾子 委員
- ⑨ 高後 仁 委員

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 石塚 晃
- ② 副館長 細見 俊孝
- ③ 主幹 小川 栄一
- ④ 主幹兼事業企画係長 森田 隆之
- ⑤ 事業企画係主査 斉藤 明彦
- ⑥ 事業企画係社会教育指導員 橋本 佐度子

4 開 会

出席状況の確認を経て議事に入った。

5 議 題

- (1) 答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」の案について

6 配布資料

- (1) 答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」(案)(資料1)

7 公開・非公開の別
公開

8 傍聴者の数
0名

9 会議
・会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

(1) 事務局より、資料1に基づき、答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」(案)を説明

楠谷委員長	先日、事務局の方から皆さんへ新しい答申案をお送りしました。それに対し、4名の委員から意見をいただきました。ただ今、その意見を反映させた答申案について説明いただいたところです。説明の内容について何かご意見、ご質問などありましたらお願いします。
青島委員	大きなことです。諮問にも出てきた「まちづくり」という言葉が出てこないのですが、これでいいのですか。 それから、前回も話し合われたことですが、「地域住民」と「住民」という言葉が使われているのですが、これは「市民」と置き換えてはいけないのですか。「市民全体」を視野に入れた公民館が、これからのあるべき公民館ではないかと思うのですが。
森田主幹	「まちづくり」という言葉についてですが、これは答申のなかで、これを通してまちづくりをしていくと捉えて、強くは「まちづくり」を強調してはいません。「地域住民」と「住民」については、公民館自体、地域に密着した形で事業を行っていくべきなので、「住民」という言葉の方がより地に足の着いた形で良いのではないかということ使っています。
青島委員	「地域住民」は分かるのですが、「住民」を「市民」に置き換えることはできないのでしょうか。
五十嵐委員	私もそう思います。「住民」というと目線が違うような気がします。
青島委員	公民館の利用方法を見ても、どこの区からでも使える体制になっていますし、公民館は「市民」のものだと思うのです。さいたま市が誕生して10年過ぎるのにまだ区ごとの格差があることを感じます。これから将来にこの格差を解消して、さいたま市全体のバランスのとれた公民館のあり方を考えなければいけないと思うので、そういう観点からもやはり、「市民」とした方がよいと思います。
船木委員	私もそう感じます。1ページ下から6行目の「全住民」とありますが、「全住民」＝「市民」ではないのですか。
楠谷委員長	私からお答えします。「地域住民」と「住民」ですが、市全体のことを考え

	<p>れば、「市民」でよいのではないかというのはご最もですが、公民館そのものは、各々の地域を中心にして活動を進めています。その連絡調整に当たるために拠点公民館、生涯学習総合センターがあるわけです。ここで言っていることは、市全体の社会教育活動、公民館活動進展のため、まず地域がしっかり根を張って活動せねばならないということにウエイトが置かれているということです。「まちづくり」と言っても軸が「地域づくり」にあります。「市民」と「住民」、「地域住民」を文章の中でどういうふうに統一したらよいかというところで、「地域住民」の方にウエイトをかける形で整理されていると思います。</p> <p>修正については、重々考えていますので、遠慮なくご発言をお願いします。</p>
青島委員	<p>ここで言う「住民」とは、さいたま市に住んでいる人ですか。それともそれぞれの区に住んでいる人ですか。</p>
森田主幹	<p>基本的には、さいたま市に住んでいる人です。</p>
青島委員	<p>それでは「市民」でよいのではないですか。</p>
細見副館長	<p>平成19年の「コミュニティ関連施設の今後のあり方について」の提言の中で、市全体の施設としては、生涯学習総合センターと市民活動サポートセンター、区レベルでは、コミュニティセンター、そして地域レベルの施設としての公民館があると位置づけております。地域を主体とした公民館活動に視点を据えるという意味で、「市民」よりは、あえて「住民」という表現にしました。</p>
船木委員	<p>地域レベルの公民館は分かりますが、どこの公民館の予約も取れることや、「社会変化に対処する公民館のあり方について」という題名を考えると、もう少し「市民」という言葉を入れてもよいかと思います。</p>
細見副館長	<p>この中でどこに「市民」を盛り込んでいくのかということですが、1ページの「全住民」は「市民」とした方がよいと思います。ただ、公民館は地域の中心、活動拠点で、広い意味での「地域住民」という考え方をしています。</p>
青島委員	<p>分かりましたが、市民全体では市民活動サポートセンターがあり、区レベルではコミュニティセンターがありますが、公民館は地域の施設です、というような一文でも入れていただくとよいと思います。それから1ページ7行目の「より多くの住民」は、「市民」にした方がよいと思います。</p>
細見副館長	<p>おっしゃるとおりだと思いますので、はじめの部分に、平成19年の、公民館は地区レベルの施設だという提言を踏まえて、検討を進めてきたということ盛り込ませていただいて、本文の中では、「住民」という言葉を使わせていただくことでよろしいでしょうか。</p>
青島委員	<p>はい、そうしてください。</p>
楠谷委員長	<p>他にございますか。</p>
高後委員	<p>学校代表の立場で出席しています。「学社連携」という言葉が4ページ(6)「各種機関・団体との連携と協調」の中に見あたりません。学校としても地</p>

	<p>域を学ぶ中で、公民館を題材として学習を進めたり、学校との連携を図るために公民館で美術展を開いたりしていますので「学社連携」という言葉を是非入れていただきたいと思います。</p>
森田主幹	<p>はい。学校との連携はとても重要なことなので、学校という言葉を入れるよう検討していきたいと思います。</p>
安藤副委員長	<p>私的なことなのですが、10年あまり、東京の多摩の方に住んでいまして、そこは、人口7万人に対して公民館1館のみで、「市民」と「住民」の意識が分裂せずに済んでいました。それに対し、さいたま市は、人口130万人に60館近くの公民館があり、「市民」のあり方と「住民」のあり方の違ったイメージがあります。これはとてもさいたま市的な状況と言えると思います。だれでも使える公民館と地域の公民館とをどう考えていくか、2年目にして答申の原点にきたという感じがします。さらに継続的に考えていきたいと思っています。</p> <p>2について、「まちづくり」の視点とか公民館事業という書き方がされていないので、どこかまとめのところに総括的に「これによってまちづくりや公民館事業のあり方の議論を当てました」という文を入れた方がよいのではないかと思います。</p>
細見副館長	<p>おっしゃるとおりで、諮問のときは、「まちづくり」という言葉を使わせていただいて、3つの観点から答申いただくということでした。私は、「まちづくり」＝「人づくり」で、この「人づくり」の部分を進めていって「まちづくり」につなげていきたいという思いが込められていると思います。今回の「人づくり」は、地域づくりの中でどうしていくのかということで、「まちづくり」そのものについては今後の課題として最後のところに盛りこませていただきたいと思います。</p>
青島委員	<p>この話し合いは「まちづくり」の視点で進んできました。2ページのタイトルを「まちづくりの視点に立った公民館をめざして」にしてはいかがでしょうか。</p>
楠谷委員長	<p>2ページのタイトルはまず、「コミュニティに開かれた公民館をめざして」から、「地域に開かれた公民館をめざして」になり、そして「地域社会に開かれた公民館をめざして」となり、答申の全体の流れとして記入されていますのでそのままのタイトルでいきたいと思っています。</p>
青島委員	<p>「まちづくり」は市政全体に関わる概念と思います。「まちづくり」の中には、「地域づくり」は入ると思うので、「まちづくり」を大きなタイトルにしても諮問との整合性もあるのではないですか。</p>
細見副館長	<p>公民館運営審議会の役割を考えたとき、公民館事業について色々ご意見をいただく形になっています。まずは公民館が地域の拠点となるためにどうやって利用しやすい施設になって、まちづくりへつながるような利用のされ方をしていくかということで、ハード面も含めたような「まちづくり」は、公民館運営審議会のテーマとしては、大きくなりすぎてしまう部分があります。</p>

	基本的には、地区レベル、地区単位としての公民館のあり方についてご提言いただいていると解釈すればいいのかなと考えています。
青島委員	公民館運営審議会の役割を超えた諮問が来たということでしょうか。
楠谷委員長	公民館の拠点はや地域であり、地域の住民が立派になることによって、市全体の、地域全体の住民が育つということです。「まちづくり」というと全体をとらえて、地域そのものが軽視されている感があります。大きなタイトルを変えるとなると軸を変え、全部を変えねばならず、難しいと言えます。
細見副館長	最終的には、地域の活動を活性化することによって拠点を通じてまちづくりにふくらませていくということを「おわりに」のところに含ませていただくことでよろしいでしょうか。
青島委員	大きなタイトルはそのまま、「おわりに」にまちづくりの視点を書きこんでいただくということですね。分かりました。
楠谷委員長	他にありませんか。 それでは、「まちづくり」その他の件について整合を問うという形ですが、内容的にはこういうことでまとめさせていただいて、答申としてまとめあげることによろしいでしょうか。皆様のご協力ありがとうございました。事務局の方で何かありますか。
森田主幹	このあと委員長とご相談し、直しを入れて、完成版を皆様に後日送付させていただきますと思います。

(2) その他

- ・今回の会議をもって第6期の最後の審議会となることを確認し、2年間にわたり審議いただいたことに対して委員へお礼をする。また、各委員より2年間を振り返って一言いただいた。

11 閉会

平成 年 月 日

さいたま市公民館運営審議会委員長_____